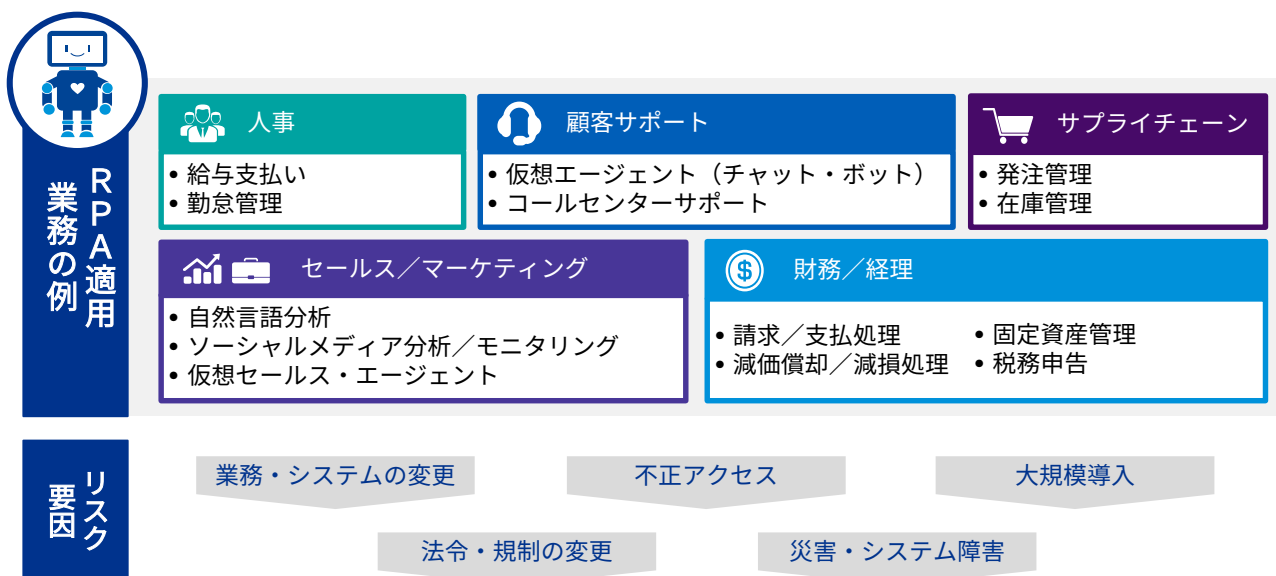


# RPAリスク管理支援サービス

単純作業の効率化・スピードアップ、複雑な作業や高度な判断を要する作業への人員のシフト、組織全体としての業務効率の向上などを実現する方法として、RPA（Robotic Process Automation）に大きな期待が集まっています。しかし、RPAの導入を進める企業の中には、リスクへの注意が十分には払われていないケースもみられます。その場合、企業の業績や評判の低下、あるいは法令違反につながりかねないリスクが、思わぬところで発生・増大している可能性もあります。RPA導入の期待効果を実現するには、効果的なリスク管理が欠かせません。KPMGは独自のRPAリスク管理フレームワークを活用し、貴社を支援します。

RPAの活用が進むことで、さまざまなトラブルの発生が予想されます。そのリスク要因とリスクは次のように整理されます。

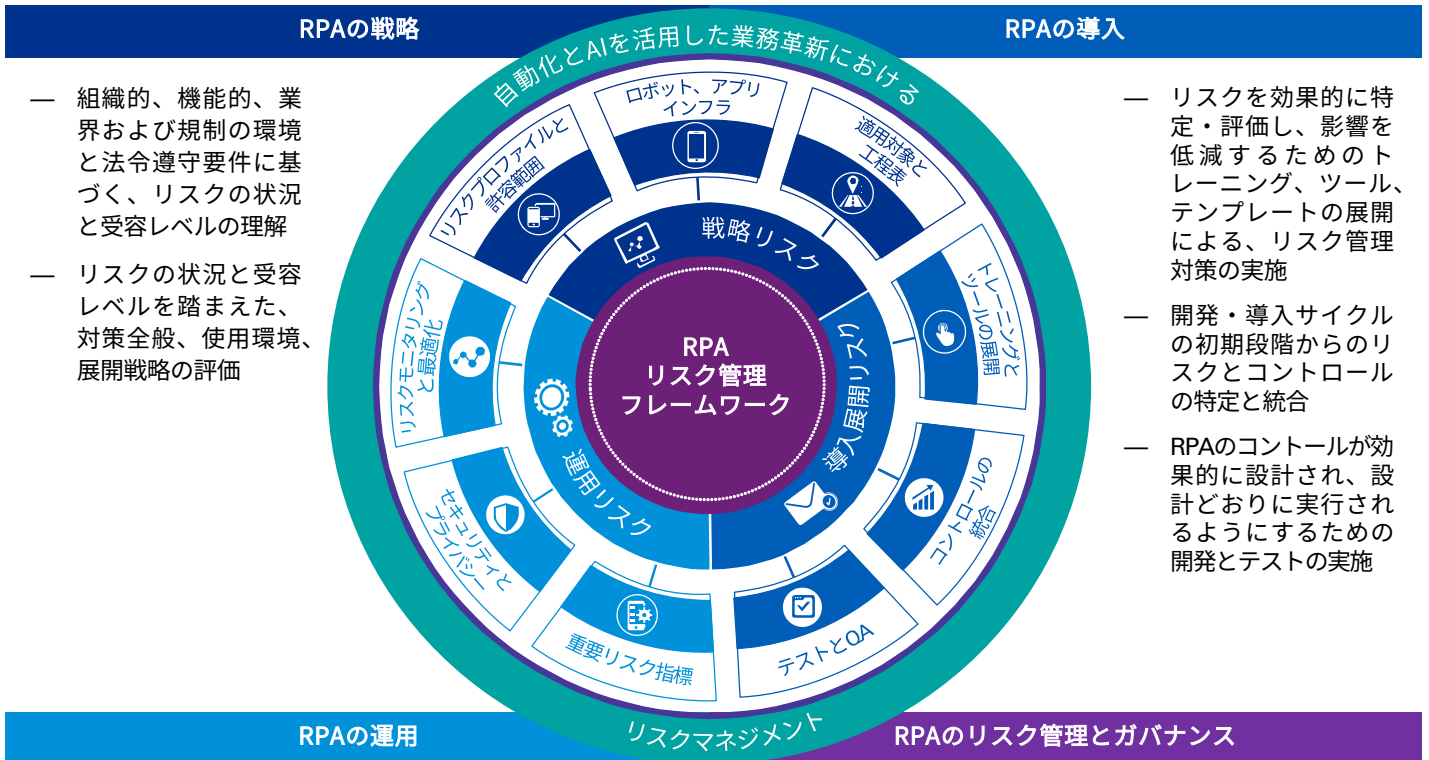


RPA導入の成功を短期的なものにせず、期待した効果の中長期的にわたり実現するには、RPA導入の効果を損なう可能性があるリスクに備えておく必要があります。

<p>■ 法令等への違反</p> <p>内部統制報告制度・米国SOX法404条の対象企業では、RPA導入にあわせて、報告対象業務における内部統制を、マニュアル統制からIT統制に置き換える必要があります。個人情報を取扱う業務へのRPA導入の場合も、セキュリティ管理対策の再構築が必要です。こうした取組みを怠ると、関連法令・規則等への違反につながるおそれがあります。</p>	<p>■ 不正アクセス・情報漏えい</p> <p>個人情報など機密性の高い情報を処理する業務では、RPA導入による情報の形態・記録媒体・処理方法の変化にあわせて、セキュリティ管理対策の見直しが必要です。見直しが遅れるとセキュリティ管理水準の低下を招き、不正アクセスや情報漏えいの発生などにつながる可能性があります。</p>
<p>■ 業務の停止</p> <p>停止が許されない業務や許容停止時間が短い業務でRPAを使用する場合、RPA停止時の対応について、しっかりとしたプランを用意しておく必要があります。万が一のRPAの停止に対して適切な対応ができないと、後続業務の遅延・停止などを含め、社内や取引先に大きな影響を与えるおそれがあります。</p>	<p>■ 不十分な管理、非効率な管理</p> <p>RPAを大規模に導入する場合、全社共通の方針、ルールの下での管理を行うことが必要です。部門ごとに分散して導入が進められた場合、無駄や重複の発生による管理コストの増大、内部統制・情報セキュリティ対策水準の低下などの問題につながる可能性があります。</p>

## RPAリスク管理フレームワーク

KPMGは、RPAのライフサイクル全体をカバーするフレームワークに基づいて、RPAにかかわるリスク管理に幅広く対応します。



- 組織的、機能的、業界および規制の環境と法令遵守要件に基づく、リスクの状況と受容レベルの理解
- リスクの状況と受容レベルを踏まえた、対策全般、使用環境、展開戦略の評価
- リスクを効果的に特定・評価し、影響を低減するためのトレーニング、ツール、テンプレートの展開による、リスク管理対策の実施
- 開発・導入サイクルの初期段階からのリスクとコントロールの特定と統合
- RPAのコントロールが効果的に設計され、設計どおりに実行されるようにするための開発とテストの実施
- RPAの運用に関するリスク指標の定義
- 変更管理および内部統制・コンプライアンスへの影響の監視
- リスクとコントロールの継続的なモニタリングと、その結果に基づく最適化の実施
- RPAの管理方針、手続、ガイドラインの作成と運用
- リスクの特定・評価・監視、その低減・受容に向けた指示
- 影響が大きいリスクに関するリスク指標と監査報告のモニタリング

## KPMGの支援サービス

KPMGは、貴社におけるRPAの導入対象、範囲、管理要件、ライフサイクル、既存の内部統制やシステムリスク管理の状況、および個別のニーズに応じて、RPAに対する柔軟で効果的なリスク管理とガバナンスの構築・運用を支援します。

貴社の状況	支援内容の例
財務報告に関連する重要な業務へのRPAの導入を計画・実施している	効率的で有効性の高い、RPAにかかわる内部統制の整備と運用、継続的な維持・改善・評価を支援します。
個人情報、重要情報の取扱い業務へのRPAの導入を計画・実施している	既存のセキュリティ管理の枠組みを活かした、RPAにかかわる効果的な情報セキュリティ対策の導入と運用を支援します。
中断・停止による影響が大きい業務へのRPA導入を計画・実施している	業務の重要性や許容停止時間などを踏まえて、RPA導入対象における効果的で実行可能な業務継続計画の立案、訓練を支援します。
RPAの大規模な導入を計画・実施している	既存の枠組みと整合した、RPAの導入・展開・運用にかかわる全社的なリスク管理の方針・ルール的设计と運用を支援します。

## KPMGコンサルティング株式会社

TEL : 03-3548-5111  
FAX : 03-3548-5114

kc@jp.kpmg.com  
www.kpmg.com/jp/kc

本リーフレットで紹介するサービスは、公認会計士法、独立性規則及び利益相反等の観点から、提供できる企業や提供できる業務の範囲等に一定の制限がかかる場合があります。詳しくはKPMGコンサルティング株式会社までお問い合わせください。

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供するよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2018 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Company Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity. All rights reserved. 18-5034

The KPMG name and logo are registered trademarks or trademarks of KPMG International.